

10月号

令和2年9月30日 発行



# たかさんだより

杉並区立高井戸第三小学校 TEL. 03(3302)0181 03(3301)6211 <http://www.sugami-school.jp/takaido?no/>

教育目標 「すすんで考えやりぬく子 心ゆたかでたくましい子 なかよく助け合う子」

## 新しい生活

杉並区立高井戸第三小学校長 馬場 章弘

昨年度でしたら、この時期の学校だよりは移動教室の報告を書いたところです。しかし今年度は5年生も6年生も移動教室は中止となりました。小学校生活最後の6年生にとっては本当に残念なことです。ただ、このまま新型コロナウイルスを怖れてじっとおこもり生活、教室での授業だけの生活をしていても、子供たちにとっては成長の機会を奪われるようなものです。正しく恐れ、正しく予防しながら、少しずついろいろな体験や今までできなかった種類の授業に取り組んでいかなければなりません。

例えば体育です。今までは「体づくり運動」などの、体の接触がなく、自分一人でやる運動が主でした。しかし、このような運動ばかりでは子供たちの体を動かす楽しさが減るだけでなく、バランスのよい発達にも影響を及ぼしていきます。そこで、今学期はマットを使った運動や跳び箱を使った運動も授業に復活していこうと考えています。まず、マットで手のつき方や自分の体重の支え方、そして、頭より自分のお尻や足が上にある感覚を身に付けます。その後、跳び箱で開脚とびや台上前転などを学んでいきます。例年担任だけでなく、“井村隊長”にも来ていただいて指導を行っています。そのことによってバランス感覚や反射神経を磨いていくことができると考えています。

新型コロナウイルスやインフルエンザを正しく恐れ正しく予防しながらも、子供たちにとって大切な学びをしっかりと保証していくことが、学校にとっての「新しい生活」だと考えています。

「みんなで子供たちをはぐくむ」

生活指導部

児童全員にとって学校が安心できる場所であり、明日も来たくなる場所であることが学校生活を送る上ではとても大事なことで考えます。授業や休み時間など学校生活の中で自分や友達を認め大切にすることを育てていくと同時に、課題を未然に防ぐため週一回情報交換の機会を設け「全教員で全児童を！」を合言葉に児童を見ています。また、学校だより5月号でも紹介させていただいた能力のアンバランスさやコミュニケーションの困難さから集団の中でつまづくことがある児童を取り出して指導している「たかさん教室」、スクールカウンセラーや外部団体との連携を図っています。

しかし子供たちの生活は学校だけではありません。社会の中で生きています。保護者、地域、学校が三位一体となって、全児童を全員で見守り協力して育てていけたらと考えています。